2024 年度 一般推薦入試(造形学部) 小論文(100点 90分)

・次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

石川県金沢市にある『金沢 21 世紀美術館』は、2004(平成 16)年に、妹島和世+西沢立衛 (SANAA)の設計によってつくられました。「新しい文化の創造」と「新たなまちの賑わいの 創出」を目的に開設された美術館で、国内外から多くの来場者を集めています。

この施設は、美術館と市民交流館の複合施設として、コンペ*で選抜されました。SANAAは、「公園のように街に開けた美術館」をコンセプトに据え、美術館と交流館の機能をあわせ持つ一体空間を提案し、採用へと至りました。

* 一定の課題を出して複数の設計者から案を出させること。競技設計。

問1 図1は建物と敷地の周辺を示した図です。図2、図3は建物の外観と敷地の写真です。 これらをよく見て、気づいたことを記述してください。

特に敷地周辺の環境、建物の外部と内部のつながりに注目してください。(400~500字)

問2 問1で答えたことを踏まえ、設計者が意図した「公園のように街に開けた美術館」とは どのようなことだと思いますか。あなたの考えを述べてください。(400~500字)

(合計 800~1000 字)

参考文献: 金沢 21 世紀美術館ウェブサイト https://www.kanazawa21.jp

日本建築学会編著『建築設計のためのプログラム事典』鹿島出版会、2020

金沢市まちづくり支援情報システム https://www2.wagmap.jp/kanazawa·mss/Portal?mid=6

図版:図1 上記文献を参照し出題者作成

図 2・図 3 金沢市画像オープンデータ https://open-imagedata.city.kanazawa.ishikawa.jp 画像提供: 金沢市



図1 建物と敷地の周辺(水色と黄色で色分けしてある部分が建物内部)

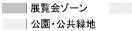




図2 東側から見た外観



図 3 西側から見た外観